

ワークショップだより ~令和2年10月・11月~



KATANO ORIHIME University

交野おりひめ大学

(一般社団法人交野おりひめ未来研究所)

〈学科紹介〉

- そば学科 ● おさけ学科 ● きかく学科 ● てがみ学科 ● 里のしぜん学科
 - みんなdeあーと学科 〈学科以外の活動〉 ● 総合講座 ● 酒づくりの会
- ◇ 学長 羽石寛寿 ◇ 運営 コーディネーター 井上哲也

一人じゃできないことを、10人で、50人で、100人で

そば学科

10月上旬から始まった蕎麦の刈取り作業が、最盛期を迎えています。

交野産蕎麦にこだわりの栽培に取り組み初め、今年で早くも9年目を迎えることが出来ました。

これまで、なかなか思うように収量が上がりず苦劳しましたが、今年は過去最高200キロ越えの収穫量が上がりそうです！

蕎麦の刈取りは、すべて手作業で行い、乾燥させた後、脱穀。脱穀した蕎麦の実は、唐箕を通してゴミと選別され、磨きを加えて製粉所へ発送して、やっと蕎麦が完成します。まだまだ先は長いですね。

今年も、学生からそば打ち段位の二段取得者を三名輩出、自分たちが栽培し収穫した蕎麦で、年越しそばを打つ日を心待ちにしています。

↓ 収穫した蕎麦！



↑ 蕎麦を刈取る学生たち

酒づくりの会

てがみ学科WS

酒米づくりも5年目を迎えました。毎回、稲刈

は天気と相談ですが、今年も絶好の日和に恵まれオーブン参加の家族連れも含め50名ほどの学生が稲刈に参加。参加した学生たちは、なれないのこぎり鎌に戸惑いながらも稲刈を楽しんでいました

今年も、全国的に大発生した害虫のウンカの影響も懸念されましたが、特に被害もなく無事に稲刈を終えることが出来ました

刈り取った稲は束ねてはぎ掛けし、2週間ほど乾燥させてから脱穀します。今はあまり見ることができない、田んぼの秋の風景です。

参加した学生たちは、ランチの炊き出しに舌鼓を打ちながら、今年の酒米で醸した日本酒の出来具合に思いを馳せていました。

10月17日ギヤラリーー天野が原で、「年賀状のアイデアを考えようWS」を開催、来年の干支「丑」をモチーフに、それぞれがアイデアを出し合いながら、年賀状のイメージづくりを行いました。

消しゴムハンコやちぎり絵など、これまでてがみ学科のWSで培ってきた手法を活かしながら、和やかな雰囲気の中、色とりどりの年賀状イメージが完成！

消しゴムハンコやちぎり絵、それぞれの一長一短も話しながら本番に向けて、期待を膨らませていました。

メールやSNS全盛の昨今ですが、心のこもった手作り年賀状に勝るものはないはず。ぜひ皆さんも作ってみませんか。



↑ 年賀状づくりを楽しむ学生たち



↑ 稲刈を楽しむ学生たち



フェイスブック

ホームページ